

# 平成24年度教育予算

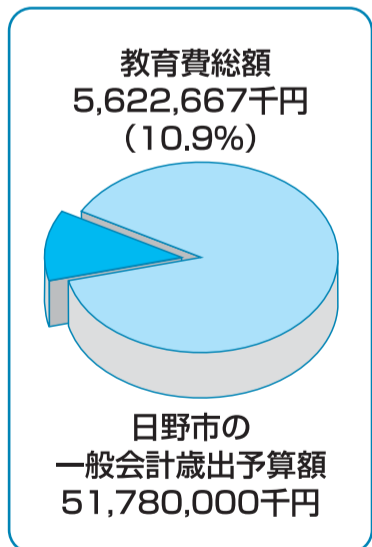
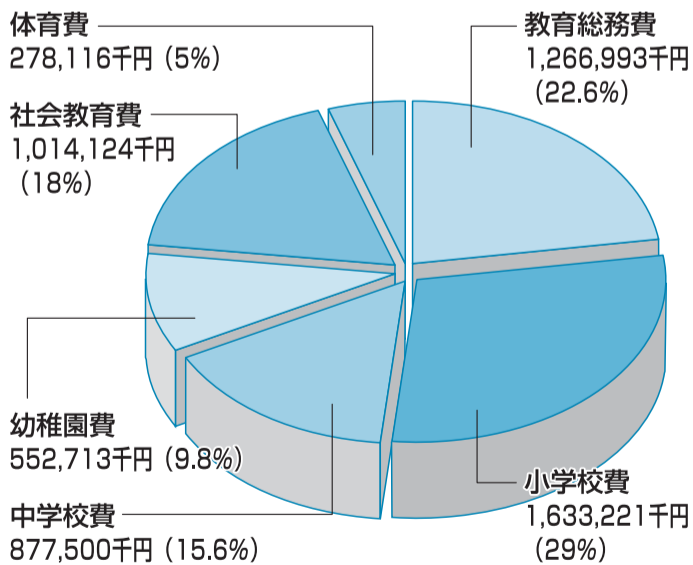
平成24年度の市の予算は、517億8千万円です。一般会計予算のうち教育費は、約56億2千200万円です。教育予算は、昨年度に比べると、約16億6千200万円の減額となりました。これは、3月1日にオープンした市民の森ふれあいホール建設経費等の減額が主な要因です。教育目標に基づき、平成24年度の主要事業は以下のとおりです。

## 平成24年度 主要事業より

- 第1項目 確かな学力の向上
  - ・授業力の向上を目指した校内研究の推進(学)
  - ・学力調査の分析、授業改善プランの作成(学)
  - ・ICTを活用した分かりやすい授業の推進(情)
  - ・地域や保護者に開かれた学校づくりに向けた土曜日の活用(学)
- 第2項目 豊かな心の育成
  - ・道徳授業地区公開講座による心の育成(学)
  - ・地域の人・自然・文化などを活かした体験学習の充実(学)
  - ・あいさつ運動の推進(市長部局と連携)
  - ・教育センターの相談機能の充実(七)
  - ・スクールカウンセラー小・中学校全校配置(学)
- 第3項目 健やかな体の育成
  - ・子どもの体力・運動能力の向上(一校一取組)(学)
  - ・「はやね、はやおき、朝(はん)を含む基本的生活習慣の定着(学)
  - ・地元産野菜の使用の推進(学)
  - ・食育推進事業の充実(学)
  - ・外部指導員の配置(学)
- 第4項目 時代の要請にこたえる力の育成
  - ・ICT活用教育の更なる充実に向けた校内体制の構築(情)
  - ・メディアコーディネータ制度による学校支援(情)
- 第5項目 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
  - ・第2次日野市特別支援教育推進計画の実施(特)
  - ・ひのスタンダードの更なる推進(特)
  - ・(仮称)日野市発達支援センターとの連携(特)
  - ・リソースルームの中学校でのモデル事業の実施(特)
  - ・中学校に特別支援学級を新設(特)
- 第6項目 人間形成の基礎を培う幼児教育
  - ・ひのつ子カリキュラムの実施(学)
  - ・保育カウンセラーの活用(学)
  - ・教員等の研修の充実(学)
  - ・幼稚園のあり方について検討(学)
- 第7項目 連携を生かした特色ある学校づくり
  - ・日野第一中・日野第二中・日野第三中プロジェクトの推進(学)
  - ・部活動の活性化(学・庶)
  - ・保・幼・小・中連携の取組(学)
  - ・研究奨励事業による授業研究の推進(学・セ・情)
  - ・職場体験の受け入れ(図)
- 第8項目 子どもの安全確保
  - ・定員制導入による「選べる学校制度」の推進(学)
  - ・スクールガードボランティアによる下校時、放課後の安全確保(庶・学)
  - ・学校への不審者侵入対策として学校安全管理員の配置(庶)
  - ・日野警察署による交通安全教室の開催(学)
- 第9項目 信頼される学校経営と教職員の養成
  - ・学校評価の実施・学校Webサイトでの公開(学)
  - ・研究奨励事業の充実(学・情)
  - ・教員研修の充実(e-learn ing研修の実施(学・セ・情))
- 第10項目 安全で快適な学校施設の展開
  - ・安全でおいしい水プロジェクトの実施(庶)
  - ・日野第二中学校の校舎改築等に向けた計画検討・方針決定(庶)
  - ・小中学校のトイレ改修の実施(庶)
- 第11項目 ニーズと課題にこたえる教育行政の推進
  - ・登校支援「日野サンライズプロジェクト」の推進(学・セ)
  - ・教育センターの調査研究及び学校支援の推進(セ)

## 教育予算の構成

教育費総額 5,622,667千円



## 生涯学習分野の主要事業

- 生涯学習課
  - ・各種生涯学習事業の整備
  - ・学校支援地域本部事業(学校支援ボランティア推進協議会事業)の再構築
  - 中央公民館
    - ・市民の森ふれあいホールを活用した公民館事業の展開
- 郷土資料館
  - ・農業体験・文化伝承事業等の充実
- 図書館
  - ・市民・利用者とともに公民館基本計画の推進
  - ・第二次図書館基本計画の策定
  - ・第二次子ども読書活動推進計画に基づく事業の推進

## あいさつ

ICT活用教育推進室長 島川 浩一



この度、梶野明信前室長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

緑と清流のまち、日野市に、満開の桜が一層の彩を添え、すばらしい環境の下で、子どもたちは、希望の春を迎えました。

今年度から、中学校においても新学習指導要領が全面実施され、子どもたちの学力の向上に向けた授業の一層の充実が求められています。教育委員会ではICT活用教育に力を入れ、授業の充実に向けてまいりました。

今年も主な推進施策の一つとして、学校におけるICTの積極的な活用に向けてきめ細かなサポートを進めてまいります。

分かる授業、魅力ある授業づくりへの支援を通して、子どもたちの学び意欲を育んでまいります。たいと思います。

